

# からしだね 第二十五号

## 101歳の安らかな死

社会福祉法人からし種の会

理事長 山崎八コネ

101歳と5カ月余りの7月17日、アイ（仮称）さんは安らかに天に召されていきました。彼女の入居日は、からし種の家の開設日も2003年4月1日でした。ホームでの暮らしも12年以上になります。今年の5月末あたりから嘔吐等体調に変化がみられるようになり、ご家族と今後について話し合いの時を持ちました。ご家族は、「最期はここで」とからし種の家での看取りを今回も希望されました。それはご本人と何度もご家族が話し合ってきたことであつたからです。そして、6月12日の往診日にご家族が同席されて、延命によらない自然死を望むこと、その思いが主治医に伝えられました。口から食べられる量は徐々に減っていき、したが、それでもお好きなものを召し上がり、ご家族に支えられながら、ホームの職員たちもアイさんの自室にこまめに訪問させていただき、身内の一人のように声をかけ、からだにふれて、体調の良い時は車いすに移り、リビングに出てお好きなテレビを一緒に観たり、細やかな生活を整えるケアの提供を日ごとにさせていただきました。そのすべては紙面上ご紹介できませんが、最期となった前後のことを少しお伝えしたいと思います。

最期の夜のことを夜勤者は、「静かな夜でした。アイさんの手をずっとにぎっていました」とそして「落ち着いて看取ることができた」とい

います。記録によれば、深夜2時にアイさんは水分を4口飲まれ、「ありがとう」とはつきりと言われていました。朝方になって急変し、連絡を受けました。ご家族と私が到着したのがほぼ同時刻となりましたが、アイさんはご家族を待っていたかのように安心の笑みを浮かべ、それから2回ほど大きな息をされたかと思うと、その息が最期になってしまいました。日頃からご家族は「ひとりで逝かせたくない」とよくおっしゃっていました。アイさんの看取りを通してあらためて教えていただいたことがあります。それは、看取りはもちろん大切ですが、亡くなられた後の対応もとても重要だということ。アイ



3周年記念祝会へ 93歳



101歳の誕生日

- 2015年11月
- 社会福祉法人 からし種の会  
事務局 〒950-2071  
新潟市西区西有明町2番5号  
TEL: 025-201-7688  
FAX: 025-201-7626  
E-mail: karashi9845-tane@cyber.ocn.ne.jp
- 高齢者グループホーム からし種の家  
〒950-2014  
新潟市西区小針西1丁目4番22号  
TEL: 025-267-6600  
FAX: 025-267-6602
- グループホーム マナの家  
□地域福祉事業 マナの家・みんなの家  
〒950-2071  
新潟市西区西有明町2番5号  
TEL: 025-201-7688  
FAX: 025-201-7626

さんの場合は、ご家族の皆さんと一緒に髪を洗いの、からだを綺麗にさせていただきました。そのいとなみに職員たちも加えていただき、アイさんとの時間を偲ぶように最後のことをばをかけるながら、時には笑ひも飛び交いながら、最後に薄化粧をいたしました。それから、利用者の方々もアイさんの死を悲しむとともに、アイさんをお送りするために、彼女と共に12年以上歌ってきた讚美歌312番「いつくしみ深き」を歌いはじめると、ご家族の方々も礼拝に参加されて、さんびと祈りを共にささげることができました。主の祈りを祈ると、不思議とアイさんのいつもの「天にまします我らの父よ」との声がお別れの礼拝でしたが、なんと幸いな永遠につながる豊かな時間を共有して、アイさんをこのからし種の家からお見送りすることができました。神共にいまして、これからもご遺族のみなさまの行く道をお守りください。

### 公益事業・マナの家(3室)を ホームホスピスとして 看取り介護料の新設

「出会いから生まれたサービス」としてのマナの家(旧からし種の家)は、1998年4月より、「その人らしく最期まで暮らし続けることのできる家」を目指してきました。しかし、制度上の認知症対応型共同生活介護(グループホーム)のみでそれを実践していくには限界があります。開設以来、従事する職員たちはそれを痛いほど何度も味わってきました。そこで、法人の自主事業・公益事業マナの家の機能を最大に活かし、地域医療と居宅サービスの連携、チームケア体制をもって看取りを取り組む、ご家族参加のホームホスピスとしての度、2015年10月3日土曜日、説明会を開催し、方針を明らかにし、看取り介護料を新設いたしました。

# グループホーム からし種の家

## よろしくお願ひします

管理者 廣井 馨

9月より管理者が変わりましたのでご報告いたします。からし種の家の日常の雰囲気や生活感はこちらからも続けていきたいと思ひます。

御家族様の協力をはじめ、近所の方々やボランティアの方に参加して頂き、入居されている方は安心して暮らしを送っています。また、介護職員の様子が生活に影響を与え、施設内の環境の変化を敏感に感じ取っておられることから、介護職員が統一したケアを図りながら、生活ケアを確実に、コミュニケーションを取ることは大切なことです。最近ではアセスメント研修や、新しく入られる利用者様の病理についての勉強会を行いました。今後も「マナの家」を含めて研修の機会を設けていきたいと思ひます。

雑誌やテレビでは認知症について目に付くようになつたと思ひます。ちなみに、介護保険制度を利用している高齢者は平成22年度で約280万人、軽度認知障害(すべての人が認知症になるわけではない)を含めると820万人と65歳以上の高齢者の約3割弱となつて居ります。今後高齢化が進んでいくことを考えると、当ホームの役割もますます重要になつてくると思われます。

「からし種の家」は日々の暮らしを大切に、四季に応じ季節感あふれる行事やお楽しみ会を行っています。これからも入居されている皆さんが安心して暮らしていけるように、職員含め

皆さんと一緒に築いていこうと思ひます。氣づいたことや氣になることなど多々あると思ひます。その際は御指導よろしくお願ひ致します。

## 日帰りお出かけ

三好 田鶴子



10月1日、「からし種の家」利用者様と職員と共に日帰りお出かけを致しました。コースは白根の「グレイプガーデン」からアグリパークのレストラン「米どころん」でした。車中の皆さんはとても賑やかにお話しされたり、車外の景色を眺めながら向かいました。

「グレイプガーデン」では頭上のぶら下がっているブドウに驚かれ、「これ食べれるの?」と楽しそうに会話されていました。テーブルでブドウを食され、「色んなブドウがあるのね、甘くて美味いわね」と喜んでいられ、その後、園内を散策したり、皆さんで記念写真を撮り、昼食の「米どころん」へ向かいました。



「米どころん」食席

「米どころん」では昼食だけ参加の利用者様も加わり、増々賑やかになりました。外食での食事でも少し緊張した様子も見られましたが、運ば

れてくるお料理に「美味しそう」と歓声を上げられ、楽しく食事ができました。普段あまり召し上がらない利用者様も食が進んでいました。

今回はブドウ園でいろいろな種類のぶどうを召し上がり、昼食は釜で炊いた美味しいごはんを外食して頂き、4時間程の行程でしたが、お疲れの様子も無く帰って来ました。利用者様から「また、行きたいわね」と仰って頂き、職員も笑顔の利用者様とご一緒に大変嬉しく思いました。



「グレイプガーデン」園内



「グレイプガーデン」入口



2014年度 からし種の家後援会 収支計算書

(単位：円)

大 科 目	中 科 目	金 額
I 収入の部	寄付金等収入合計 A	955,007
II 支出の部	経費支出	49,136
借入金元金償還金支出	借入金元金償還金支出	1,000,000
当期支出合計 B		1,049,136
当期収支差額 C (A - B)		△ 94,129
前期繰越資金 D		213,049
次期繰越資金 E (C + D)		118,920

財産目録 2015/3/31 現在

(単位：円)

摘 要	金 額
資産合計 (郵便貯金)	118,920
負債合計 (借入金)	14,400,000
差引正味財産	△ 14,281,080

(単位：円)

からし種の会後援会 (賛助会費、維持会費、自由献金等) 2014年8月～2015年9月	
中 俣 正 美	20,000
匿 名	30,000
富 岡 元 子	15,000
小 柳 直 江	15,000
大 越 正 一	3,000
山 岡 清 二	10,000
倉 本 武 治	40,000
柴野 修三・三知	10,000
横 山 豊 治	6,000
小野 敏夫・久恵	10,000
匿 名	3,000
久 保 和 子	5,000
篠 崎 薫	3,000
貝 塚 夕紀代	10,000
守 下 義 之	20,000
小 林 恵	10,000
林 浄 子	6,000
加 藤 楽 子	5,000
新潟地球村教会	20,000
(株)コムプラスビズ	50,000
野 島 廣一郎	6,000
匿 名	1,000
星 野 りえ子	40,000
一 色 登 久	3,000
松 崎 博 司	5,000
棚村 重行・恵子	3,000
松 本 愛 子	3,000
土 田 成 子	10,000
古 川 久 子	3,000
(株)ネイグル新潟	10,000
加藤歯科医院 加藤正衛	5,000
小 池 由 佳	8,000

鶴 沼 裕 子	10,000
青 木 範 雄	20,000
亀 苔 美智子	10,000
藤 森 恵美子	5,000
神 保 みゆき	5,000
東中通教会 婦人会	5,000
一柳 茂樹・民恵	20,000
馬 場 優 子	30,000
大 岩 治 子	5,000
中 西 恭 子	6,000
日本キリスト教団 新丸子教会 婦人会	3,000
竹 内 晃	5,000
青 木 脩	5,000
貴 田 陽 一	10,000
イエス・キリスト栄光教会 大倉 直子	10,000
青 木 学	3,000
長谷川 聖 二	5,000
桶川伝道所 高橋 悦子	2,000
丹 後 源太郎	3,000
寺 田 助 一	10,000
高 橋 和 彦	5,000
北 垣 宗 治	5,000
薩摩 雅宏・牧子	15,000
黒 崎 浩	5,000
小 淵 康 而	10,000
北 尾 隆 昭	5,000
聖ヶ丘教会 壮年会	10,000
山北 宣久・千世	20,000
倉 井 良 子	5,000
日本キリスト教団 新丸子教会	3,000
日本キリスト教団 新潟信濃町教会	10,000
日本キリスト教団 新津教会	1,000
福 島 三 郎	10,000
日本キリスト教団 聖ヶ丘教会	120,000
市 村 秀 子	3,000

聖ヶ丘教会 婦人会	60,000
深 谷 美歌子	2,000
日本キリスト教団 東中通教会	3,000
武 井 一 枝	3,000
日本キリスト教団 佐渡教会	3,000
日本キリスト教団 東新潟教会	3,000
日本基督教団 高田教会	3,000
日本キリスト教団 新発田教会	10,000
青山学院初等部	30,000
日本キリスト教団 新潟教会	10,000
日本基督教団 見附教会	5,000
才 川 ミ サ	3,000
岩 本 あつ子	10,000
加 野 久 子	3,000
松 本 幸 恵	3,000
匿 名	30,000
(有)西新潟商事	10,000
大 橋 謙 策	5,000
合 計	983,000

からし種の会 (法人への献金) 2014年8月～2015年9月	
匿 名	300,000
幸 田 良 子	100,000
松 井 朝 子	50,000
中 俣 正 美	30,000
並 木 浩 一	20,000
北 尾 隆 昭	5,000
馬 場 俊 彦	30,000
富 山 雪 江	30,000
星 野 りえ子	20,000
(有)西新潟商事	20,000
山田 昌人・光子	20,000
長谷川 静 子	5,000
森 数美・たづ子	30,000
会 田 きよみ	10,000
山北 宣久・千世	10,000
高 橋 良 司	50,000
土 田 成 子	25,000
山 崎 ハコネ	420,000
合 計	1,175,000

\* クリスマス献金のご案内 \*

いつも小さな法人の歩みを覚え、お支えを心から感謝いたします。法人の自主事業は、すべて利用料と寄附金によって賄われています。ホームホスピスとしての特色を持った事業を展開できますように、どうぞ、祈りとクリスマス献金をもってお支えください。

①後援会の口座

郵便振替口座 払込取扱票で入金の場合  
(同封のもの)

口座番号：00540-7-59997

加入者名：社会福祉法人 からし種の会後援会

②法人の口座

(1)郵便振替口座 払込取扱票で入金の場合

口座番号：00520-2-49444

加入者名：社会福祉法人 からし種の会

(2)第四銀行小針支店 普通預金

口座番号：1311450

名義：社会福祉法人 からし種の会

\*所得税控除 当法人が行う社会福祉事業のために②の(1)および(2)の法人の口座に献金していただくと、所得税法第78条第2項第3号及び法人税法第37条第1項及び第4項に該当し、税金が控除されます。

法人に指定寄附をご希望される方は、ご連絡下さい。



社会福祉法人 からし種の会の2014年度資金収支計算書を掲載致します。

## 社会福祉法人 からし種の会 資金収支計算書

(自) 2014年4月1日 (至) 2015年3月31日

(単位：円)

勘定科目		予算	決算	差異	
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	87,608,000	87,780,084	△ 172,084	
	公益事業収入	6,707,000	6,671,323	35,677	
	経常経費寄附金収入	1,035,000	1,060,000	△ 25,000	
	受取利息配当金収入	3,000	13,709	△ 10,709	
	雑収入	1,342,000	1,327,453	14,547	
	事業活動収入計(1)	96,695,000	96,852,569	△ 157,569	
支出	人件費支出	64,800,000	61,730,175	3,069,825	
	事業費支出	9,902,000	7,819,576	2,082,424	
	事務費支出	6,919,000	5,262,208	1,656,792	
	支払利息支出	619,000	614,707	4,293	
	その他の支出	1,099,000	1,062,850	36,150	
		事業活動支出計(2)	83,339,000	76,489,516	6,849,484
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	13,356,000	20,363,053	△ 7,007,053	
施設設備等による収支	収入				
	固定資産売却収入	36,000	36,000		
		施設整備等収入計(4)	36,000	36,000	
	支出				
	設備資金借入金元金償還支出	4,326,000	4,326,000		
	固定資産取得支出	235,000	110,840	124,160	
	施設整備等支出計(5)	4,561,000	4,436,840	124,160	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 4,525,000	△ 4,400,840	△ 124,160	
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動による収入	300,000	300,000		
		その他の活動収入計(7)	300,000	300,000	
	支出				
	積立資産支出	6,000,000	6,000,000		
	その他の活動支出計(8)	6,000,000	6,000,000		
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 5,700,000	△ 5,700,000		
	予備費支出(10)	450,000		450,000	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	2,681,000	10,262,213	△ 7,581,213	

前期末支払資金残高(12)	73,163,741	73,163,741	
当期末支払資金残高(11)+(12)	75,844,741	83,425,954	△ 7,581,213

※法人の公益事業である「地域福祉事業マナの家」みんなの家(たまり場)は、すべて自主事業で、2014年度の会計報告は赤字会計となりました。お祈り下さい。

### 共用型デイサービス マナの家

利用案内(1名空きあり)  
ご相談ください

**025-201-7688**

### みんなのクリスマス礼拝・ 祝会のご案内

**12月25日(金)**  
**15:30**



場所：新潟市西区西有明町2-5 マナの家  
共催：地域・マナの家・からし種の家・たまり場

# グループホーム マナの家

## 秋風の中で「なごみの輪」を感じて

岡 美代子

9月から10月にかけて、2回、外出レクリエーションとして、「ふるさと村」へ出掛けました。たまたま私は、2回とも同行する事ができ、その二回とも出掛けられたN様の様子が、とても印象に残りました。

1回目は他の2名の方と、職員3名の計6名で出掛けました。到着してガーデンの方へ行き、大輪のダリアや沢山のコスモス、ホウキ草など色とりどりに咲く花々を見て、皆さん喜ばれていました。しばらくして、館内に入り、お土産などを見て回り、休憩場所の椅子に腰かけ、休まれている時の事です。

他の2名の方は、ご自分の食べたい物を購入され、召し上っていたのですが、N様は、「私は、いいから。あなた達食べてね。」と何も口にはしませんでした。

それから2週間くらい経って、再び、ふるさと村へ出掛ける日の午後、N様と同じテーブル席で、いつも一緒に座っておられる、I様とS様に、「これから、出掛けるので準備をしましょう。」と、声をかけていると、隣にいらしたN様が、「あなた達が行くなら、私も行くわ。」とおっしゃったのです。

私は、少し驚きました。と、言うのも、N様は、ご自分から「どこかへ行きたい。」とはあまり、おっしゃらない方だと、思っていたからです。

「この前は、ご一緒した方達が、知らない方達だったので、緊張して何も食べられなかった。」とも、おっしゃるのです。

N様は、いつもテーブル席で一緒のI様やS様のお名前は、



10月 ふるさと村へ出掛けました

覚えていらっしやいません。しかし、共に生きる喜びを感じ合う「友情」を、月日の流れの中で、育まれて来られたのでしょう。お二人と一緒に掛けたN様は、前回よりもとても楽しそうにお話しになり、買ってきたおまんじゅうを「こんなに沢山食べられないわ。」と笑顔で話されながらも、おいしそうに召し上っていました。

利用者様の方々に、喜んでもらえるようなレクリエーションの機会を、今後増やしていきたいと思えます。

## 避難訓練の実施について

野口 昌嗣

今年の夏に、消防署の署員の方達から、マナの家にお越し頂き、避難訓練を行いました。当日は、とても暑い日で日差しもとても強く、利用者様の皆さんの体調が大変心配でしたが、避難訓練が始まると、体調不良等を起こす方もなく、皆さん、大変スムーズに、大きな混乱もなく、避難は完了しました。

次に、避難訓練終了後に、一階のみんなの家に集まり、消防署の方達の、マナの家への訓練に対する評価や、災害時の適切な行動や、アドバイス等を話して頂きました。利用者様も、消防署の方のお話を真剣に聞いてらっしやいました。

他にも、物干し竿と毛布を利用して、即興の担架の作り方を教えて頂き、実際に職員が、その担架の上に乗る、安全性と耐久度を試しました。さらにも、消火器の正しい使い方も教えて頂きました。ここでも、実際に消火器を使用し、消火の練習を行いました。利用者



7月17日 避難訓練

様も消火の練習を行いました。庭に出て、消火剤に見立てた水を狙った所へ、向けてまく、というもので、皆さん頑張っておられました。職員全員が防災の意識を高く持ち、災害が実際に起こった時には、教えて頂いたこと等を落ち着いて出来るようにならないといけないと感じました。

## マナの家での収穫

齋藤 美幸

毎年、マナの家では野菜を育てています。

外らせん階段近くの土地にはきゅうりを育て、駐車場のフェンスにはニガウリ、2階のベランダではプランターでミニトマトとミニきゅうりを育てました。今年の猛暑にも負けずにぐんぐん成長し、利用者様からも水やりを手伝って頂いたおかげでたくさん収穫できました。職員だけではありません。利用者様も「収穫できそうだから採りに行って」と、食べごろのきゅうりやニガウリの収穫をしてきて下さいました。収穫した野菜はもちろん食卓に並び召し上がって頂きましたが、不思議なことに苦いはずのニガウリは苦味が少なくとても食べやすいものであり、利用者様も残される方が少ない様に感じました。

育て、収穫できた喜びや新鮮な野菜からの元気が一人ひとりの体の中を駆け巡り、結果夏を乗り越えられることができましたのではないかと思います。秋には食用菊の収穫を控えており、再び食卓は収穫できた喜びに包まれることで頂ければ幸いです。



8月 2階ベランダで収穫

暑さにも負けずおいしく育ったわね

8/21 「納涼祭」

年に1度の夜のたまり場。おいしいごちそう、お酒もありで、皆さん話も弾みました。子どもたちは、庭に出て、花火を楽しみました。



7/13 コンサート「天上の音楽」

きれいな歌声と生演奏に皆さんうっとり。若いも若きも、心地よいひとときを共有できました。



毎週月曜日、「みんなの家マナ」に子どもたちの元気な声が、響きます。その声を楽しみにしている方走っている子ども達を見て笑顔になれる方と、グループホームの利用者さんたちも、うれしそうです。この「たまり場」の活動も2年目になりました。イベントなど、今年の「たまり場」の様子をお知らせします。

たまり場「みんなの家マナ」

西村 富美子

10/19 「ある1日」

今日の昼食は、手作り餃子です。グループホームの方と一緒に作りました。



10/5 「山ぶどうのジュース」

マナの家玄関には、山ぶどうの木があります。マナの家が出来た時ある方が、植えて下さったものだそうです。今年は見事に実をつけました。



形は様々でしたが、おいしい餃子できました。この餃子は、いい形です!

収穫したものを子どもたちが喜んで1粒ずつバラバラにしてくれました。このぶどうで作ったジュース、いただくと体に染み渡り元気が湧いてくるようでした。



編集後記

ようやく皆様のお手元に機関誌第25号をお届けできました。今回もお伝えしたいことがいっぱいあり、盛りだくさんの内容となりました。からし種の家、マナの家、法人の自主事業マナの家、たまり場・みんなの家マナと、それぞれの家を覚えてお祈りください。

今後も「たまり場」では、楽しいイベントを企画していきたいとおもいます。

「たまり場」は、毎週月曜日 10:00より開催しています。参加費 200円・昼食代 300円です。どなたでも参加できます。興味のある方、1度のぞいてみてください。お待ちしております。



「マナとからしだねのブログ」も更新中です。見てくださいね♪

9/12 第2回「陶芸教室」

去年に引き続き、敬和学園大学の趙先生に教えてもらっています。皆さん真剣な表情で取り組まれています。どんな作品が出来あがるのか、楽しみです☆

